

企画提案書(紙面レイアウト等)の作成について

1 提出いただく企画提案書

(1) 紙面レイアウト

「表紙（1面）」「今月の特集（2・3面の見開き）」「シリーズ企画（6面）」の計4面を作成し、A3用紙（今月の特集はA2用紙）に実物大で片面カラープリントしたものを各7部（各正本1部・副本6部）

※A2用紙での印刷が難しい場合、A3用紙2枚に分かれても良いこととする。

(2) 「表紙」「今月の特集」「シリーズ企画」の各紙面レイアウトの作成意図について説明した書類を7部（様式自由。正本1部・副本6部）

※「表紙」については、撮影した写真やイラスト等の撮影・作成意図も含めて説明すること。

(3) 若年層を中心とした新たな読者を獲得できるように、SNS（XやInstagramを想定）を活用した、紙面を読むきっかけとなるような、またはSNSで発信したくなるような、実現性が高く効果的な企画を提案した、その企画の名称や概要、運用方法について説明した書類を7部（様式自由。正本1部・副本6部）

※読者へのプレゼント企画を提案する場合のプレゼント品の購入費用や郵送料など、本提案の実現のために必要な費用があれば受託者が負担すること。

※市長室広報課アカウントでの投稿作業については、市長室広報課が行うものとする。

※提出する紙面レイアウト内でも読者に伝わるようなPRを行うこと。

※正本は提案者名を記載し、副本には事業者名が特定できるような記載、表現、ロゴ等は使用しないこと。

2 各紙面レイアウトの共通事項

(1) アドビ株式会社製「イラストレーター」または「インデザイン」を用いて紙面を編集すること。

(2) 紙面データの作成サイズは、天地380mm×左右245mmとする。なお、今月の特集（2・3面）は見開きとなるため、天地380mm×左右513mmとする。

(3) 仕様書「2本紙のコンセプト」「3デザインのターゲット」「7編集方針」を考慮して作成すること。また、ユニバーサルデザイン・男女平等参画・人権等の観点に配慮すること。

(4) 本文は基本、横書きとするが、提案者がデザイン上縦書きが効果的だと判断した部分については縦書きにしても良いこととする。

(5) 本文はユニバーサルデザインフォント15Q（10.5ポイント）以上とすること（写真説明のキャプションや二次元コードの説明等を除く）。

(6) 本文以外のフォントについてもユニバーサルデザインフォント15Q（10.5ポイント）以上とするが、紙面のデザイン上必要な場合は他のフォントを使用して作成しても良いこととする。

(7) 各紙面原稿に記載された【選択項目】は掲載自由とし、【必須項目】は必ず紙面に掲載すること。その際、紙面原稿のテキストは、文の趣旨が変わらない範囲で適宜リライト可とし、全文を記載する必要はない（「リライト不可」と記載のある部分は除く）。また、紙面原稿の一部を強調したり、内容を補足するキャッチコピー・記号等を加えることも可とする。原稿のテキスト中の記号(●・「・」(箇条書きの中点)等)や、文字の囲み・下線等は便宜上使用しているものであるため、そのまま使用する必要はない。斜体色付きの文字は注意書き等のため紙面に入れないこと。

(8) 市長室広報課から提供された各紙面に挿入する写真データは、全ての写真データを使用する必要はなく、選択の上、使用すること。市長室広報課から提供する写真データ等は本プロポーザル以外では使用しないこと。

なお、「表紙」のレイアウトに使用する写真是、提案者が写真撮影を行うことを必須とする。また、「今月の特集」においては、提案者が用意した写真データを使用することも可とする。ただし、写真撮影を行う際には次のア～オに留意すること。

ア 「表紙」「今月の特集」のテーマである「揚輝荘の歴史的価値と空間の魅力」のうち「揚輝荘」内で撮影することは、揚輝荘(指定管理者:城山・覚王山歴史文化の杜まちづくり共同体)から事前許可を得ている。ただし、撮影を行う前に、提案者から揚輝荘に電話予約を行ってから撮影を始めること。

(問い合わせ先)

揚輝荘

電話 052-759-4450 (営業時間 午前 9:30～午後 4:30、月曜日休み・ただし祝休日の場合は翌平日休み)

イ 写真に人物を登場させる場合、提案者が独自にモデルを用意しても良いこととする。ただし、一般利用者が写真に入る場合、了解を得た上で撮影するか、個人が特定できないように撮影する等、個人の肖像権に配慮すること。

ウ 写真撮影に際し、市長室広報課への連絡は不要であるが、撮影時は一般利用者の妨げとなならないよう、十分に配慮すること。

エ 撮影時のトラブルに関しては、本市では一切責任を負わないものとする。

オ 揚輝荘の観覧料も含めて、写真を現地で撮影する際に費用が発生した場合、市長室広報課は負担しないこととする。

※各紙面に掲載する写真等のデータについては、別途電子メール等で提供するため、市長室広報課まで電話と電子メールにて連絡すること。

(問い合わせ先)

名古屋市市長室広報課 担当：畠山
はたけやま

電話 052-972-3134 (営業時間 午前 8:45～午後 5:30)

メールアドレス a3134@shicho.city.nagoya.lg.jp

※各紙面原稿の内容は、本市の施設や事業に沿ったものであるが、本プロポーザル実施のために適宜修正している。

※各紙面原稿に関する質問等は、原稿に記載された問い合わせ先ではなく、市長室広報課に問い合わせること。

3 「表紙(1面)」の作成について

(1) テーマ

「揚輝荘の歴史的価値と空間の魅力」

(2) ターゲット

揚輝荘の存在を知らない、又は名前のみ知っている層を中心に、観光や歴史に詳しくない人にも理解しやすい内容とする。

(3) ターゲットに気づいてほしいポイント

ア 揚輝荘は、松坂屋創業家が整えた迎賓・文化交流の場として活用され、建物・庭園が現存する、名古屋の文化的価値を示す歴史的資産であること。

イ 歴史的建造物や庭園が一般公開され、市民が散策や展示・イベント等を通じて楽しみ、体験できる魅力ある文化施設であること。

(4) ターゲットにどうなってほしいか

揚輝荘が持つ歴史的価値や役割を知り、実際に足を運んでその魅力を体感してほしい。

(5) 表紙の原稿

ア 次の【必須項目】は基本、リライト不可とするが、提案者が必要と判断した場合、テキストや記号等を追加することは可とする。

イ タイトル・コンセプト・号数については既存のものを使用し、既存の位置に配置すること。

ウ 次の【必須項目】の記載順に意図はないため、提案者が各項目のレイアウトを検討すること。

エ 「説明文」「今月のラインアップ」「市政に関するお問い合わせ等」は、ユニバーサルデザインフォントを基本とするが、それ以外の項目のフォントは問わない。「今月のラインアップ」は13Q（9ポイント）以上とすること。

オ 二次元コードは読み取れるサイズであれば、大きさは問わない。

【必須項目】

項目	原稿
タイトル	広報なごや (データの提供あり)
コンセプト	気づけば 名古屋をもっと好きになる (データの提供あり)
号数	令和7年(2025年)9月号 No. 933 ※あくまで仮の号数であるため、「表紙」「今月の特集」の内容に影響を与えるものではない。(データの提供あり)
SDGs ロゴ	ロゴデータの提供あり (ロゴデータ内の「1. 名古屋市は SDGs 未来都市」から選択すること)
シティプロモーションロゴ	ロゴデータの提供あり シティプロモーションサイトの二次元コード (二次元コードの提供あり)

説明文	広報なごやは毎月 10 日までにお配りしています。記事の内容(開催日・申込期限など)が原則、毎月 11 日以降のものを掲載しています。〔配布/区役所総務課〕
表紙写真・イラスト	※2 (8)、3 (6) 参照
2・3面「今月の特集」のタイトル	※2・3面「今月の特集」のタイトルを2・3面の内容を考慮して作成し、記載すること。
今月のラインアップ	<p>④面 中学生を対象とした土曜日・日曜日のクラブ活動が始まります!</p> <p>⑤面 あなたの回答が名古屋の未来をつくる!令和7年国勢調査</p> <p>⑥面 シリーズ企画面で作成したタイトルを記載すること。</p> <p>⑦～⑫面 支援策・お出かけ・イベント情報など</p> <p>A面 〈なごやスポーツ応援団〉バスケットボール ファイティングイーグルス名古屋編</p> <p>B・C面 〈Aichi-Nagoya2026〉サッカー／車いすテニス</p> <p>D面 〈2026 アジア・アジアパラ競技大会 NAGOYA ビジョン〉「芸どころ名古屋」を体感</p> <p>⑬～⑮面 区版</p> <p>⑯面 区版表紙</p>
SNS 等の紹介	<p>市公式ウェブサイトの二次元コード (二次元コードの提供あり)</p> <p>市公式 LINE の二次元コード (二次元コードの提供あり)</p> <p>広報課公式 X の二次元コード (二次元コードの提供あり)</p> <p>広報課公式 Instagram の二次元コード (二次元コードの提供あり)</p>
市政に関するお問い合わせ等	<p>市政に関するお問い合わせ</p> <p>名古屋おしえてダイヤル</p> <p>午前 8:00～午後 9:00 年中無休</p> <p>☎052-953-7584 FAX052-971-4894</p> <p>名古屋おしえてダイヤルの二次元コード (二次元コードの提供あり)</p> <p>よくある質問はこちら▶ (名古屋おしえてダイヤルの二次元コードの周辺に配置)</p> <p>市公式 LINE (自動応答でお答えします) (市公式LINEの周辺に配置)</p> <p>広報なごや・広報なごや点字版・声の広報なごやに関するお問い合わせ</p> <p>名古屋市市長室広報課</p> <p>☎052-972-3134 FAX052-972-4126</p> <p>✉a3134@shicho.city.nagoya.lg.jp</p> <p>なごやハザードマップ防災ガイドブックの二次元コード (二次元</p>

	<p>コードの提供あり) 「もしも」のときのために備えよう (なごやハザードマップ防災ガイドブックの二次元コードの周辺に配置) 市防災啓発キャラクタークルカモのイラスト (なごやハザードマップ防災ガイドブックの二次元コードの二次元コードの周辺に配置) </p>
人口・世帯数・面積	人口：2,337,241人(前月比794人増) 世帯数：1,192,281世帯(前月比1,181世帯増) 面積：326.45k m ² (令和7年8月1日現在)

(6) 表紙の留意事項

撮影した写真とイラストを凝らして作成すること。

表紙のレイアウトに使用する写真は写真撮影を行い（必須）、写真撮影・使用に際しては次のア～ウに留意すること。

ア 表紙の写真は「揚輝荘」の敷地内の写真とする。エリア内の施設や場所、方角や時間帯は問わない。ただし、解像度350dpi以上で撮影すること。また、撮影時季が特定できる風景（紅葉・雪等）をメインとしないこと。

イ 複数の写真を組み合わせて表現することも可とする。

ウ 写真とイラストを組み合わせて表紙をデザインすること。その際、写真やイラストを配置する範囲や形は定めない。イラストは、提案者が自ら作成したものや著作権フリーの素材等、権利関係上問題のないものを使用すること。

4 「今月の特集(2・3面の見開き)」の作成について

(1) テーマ

「揚輝荘の歴史的価値と空間の魅力」

(2) ターゲット

揚輝荘の存在を知らない、又は名前のみ知っている層を中心に、観光や歴史に詳しくない人にも理解しやすい内容とする。

(3) ターゲットに気づいてほしいポイント

ア 揚輝荘は、松坂屋創業家が整えた迎賓・文化交流の場として活用され、建物・庭園が現存する、名古屋の文化的価値を示す歴史的資産であること。

イ 歴史的建造物や庭園が一般公開され、市民が散策や展示・イベント等を通じて楽しみ、体験できる魅力ある文化施設であること。

(4) ターゲットにどうなってほしいか

揚輝荘が持つ歴史的価値や役割を知り、実際に足を運んでその魅力を体感してほしい。

(5) 今月の特集(2・3面の見開き)の留意事項

写真やイラストを凝らし、今月の特集(2・3面の見開き)を作成すること。

ア 見開きとなるため、2・3面それぞれの紙面データの作成サイズは天地380mm×左右513mmとする。

- イ 紙面の左上部分に「今月の特集」と記載すること。フォントは問わない。
- ウ イラストは、必要に応じて適宜作成・挿入すること。提案者が自ら作成したものや著作権フリーの素材等、権利関係上問題のないものを使用すること。
- エ 別途提供する写真データ等を使用する場合、加工・修正は可とする。
- オ 写真データを使用する場合、必要に応じてキャプションを付けること。
- カ 二次元コードは読み取れるサイズであれば、大きさは問わない。

(6) 今月の特集（2・3面の見開き）の紙面原稿

【必須項目】

テーマと内容に応じてタイトルを作成し、記載すること。

【必須項目】

リード文（リライト・短縮可）

名古屋の文化交流と迎賓の場として整えられ、歴史の中で数多くの人々が集った揚輝荘。都心のすぐ近くに残る、静けさと非日常が味わえる文化財「揚輝荘」へ行ってみよう！

【必須項目】

揚輝荘とは（説明文は、リライト・短縮可）

松坂屋初代社長の伊藤次郎左衛門祐民の別荘として、大正～昭和初期にかけてつくられた。かつては単に個人の別荘にとどまらず、各界の要人や文化人の迎賓館、社交場として華やいだ。またアジアの留学生の寄宿舎として国際交流の場でもあった。平成19年（2007年）に名古屋市に寄贈され、平成20年（2008年）に聴松閣など5棟の建造物が市指定文化財になった。「揚輝荘」という名前は、この地が月見の名所であったことから、漢詩の一節「秋月揚明輝」から命名されたといわれる。

揚輝荘の地図の画像提供あり（提供画像を参考にした地図の作成は可とする）

開園時間 午前9時30分～午後4時30分

休園日 月曜日（祝休日の場合は翌平日）

料金 北園 無料、南園（聴松閣）高校生以上300円・中学生以下無料

揚輝荘の見所紹介

以下の必須項目・選択項目にある説明文はリライト・短縮可

【必須項目】

南園

ちょうしおかく
聴松閣

昭和12年（1937年）に揚輝荘の迎賓館として建てられた洋館。全盛期（昭和14年頃）の揚輝荘を再現したジオラマやパネル展示などで「揚輝荘」や「伊藤次郎左衛門祐民」を紹介。

聴松閣の写真提供あり

1・2階は英国や中国風の意匠を取り入れた各部屋がある。印度様式の地階には、壁画やホール、舞踏場があり、貸室として利用できるので講演会やコンサートなどの開催も可能。

【選択項目】

旧応接室

イギリス山荘風。暖炉のタイルや客船をイメージした丸窓がおしゃれ。

旧応接室の写真提供あり

旧寝室

中国式のデザイン。天井のデザインも凝っている。

旧寝室の天井のデザインの写真提供あり

旧舞踏場

当時は数多くの社交の場となっていた。^{はり}インドのアーグラ宮殿の細工が施されていて、柱・梁・壁など、どの装飾も厳選された特別なものばかり。仏教への信仰が深かった祐民は、インドに4ヶ月の仏跡巡拝旅行をした際に受けた感銘を聴松閣で表現したのだとか。

旧舞踏場の写真提供あり

旧舞踏場の床。大きな円を描くようなデザインは、人々が踊るときの目安なのだそう。

旧舞踏場の床の写真提供あり

ホール

インドの留学生が描いた壁画がある。

地階の壁画の写真提供あり

南庭園

回遊式茶庭園で、お茶の世界の「詫び、さび」を想わせる枯山水の石庭を見ることができる。(水曜日・土曜日午前 10:30~11:15・午後 2:00~2:45 のガイド時のみ一部公開中)

南庭園の写真提供あり

【必須項目】

喫茶室兼休憩室（旧食堂）（聴松閣内）

気品溢れる洋館の風情の中で軽食やデザートを楽しむことができる。

喫茶室兼休憩室（旧食堂）の写真提供あり

アイスコーヒー300円。+300円で「本日のお菓子」のセットに。

ドリンクとお菓子の写真提供あり

【必須項目】

北園

美しい日本庭園が広がる。歩いて回りながら、さまざまな角度からの景観を楽しめる。

北園の日本庭園写真提供あり

白雲橋

京都御所にある修学院離宮の橋を模したといわれる北庭園のシンボル。

白雲橋の写真提供あり

龍の天井絵などに趣向が凝らされている。

龍の天井絵の写真提供あり

伴華樓

尾張徳川家ゆかりの和室に洋室などを加えて建築された。外壁はさまざまな模様のタイルや玉石が美しく組み合わせてある部分も。※建物内への入室は不可。

伴華樓の写真提供あり

【選択項目】

入口の橋の欄干、白雲橋の階段、伴華樓の腰壁などには赤・青・緑・白・黒の小石を組み合わせた「五色玉石貼り」が使われている。

伴華樓の外壁の写真提供あり

三賞亭

揚輝荘最初の建物で、煎茶の茶室。東洋風のデザインが趣深い。

五色玉石貼りの写真提供あり

北庭園

山桜・新緑・紅葉・落葉と四季折々の景色が楽しめる。

三賞亭の写真提供あり

秋の様子。

北庭園の写真提供あり

【必須項目】

南園の催し

●紅茶飲み比べ講座（インド・ダージリン編）

世界三大銘茶の1つ「ダージリン」の魅力を楽しく気軽に体験。

日時 10/4（土）午前10：00～11：30・午後1：30～3：00

北庭園（紅葉）の写真提供あり

対象 抽選各 10 人
料金 各 1,000 円（別途入館料必要）**受付** 9/24（水）まで

●親子で能体験

能の鼓演奏や謡いを体験

日時 9/21(日) 午前 10:30～正午・午後 1:30～3:00
対象 5～12 歳の子と保護者。抽選各 10 組
料金 入館料必要 **受付** 9/17(水)まで

北園の催し

●はじめてのお茶会

日時 9/20（土）午前 10:00～午後 3:15（1 回 45 分）
対象 小学生と保護者（1 組につき小学生 2 人まで）。抽選各 4 組
料金 各 1 人 500 円 **受付** 9/17（水）まで

揚輝荘やイベントの申し込みについて詳しくはこちら→[二次元コード](#)（揚輝荘の二次元コードの提供あり）

【必須項目】

若年層を中心とした新たな読者を獲得できるように、SNS（X や Instagram を想定）を活用した、紙面を読むきっかけとなるような、または SNS で発信したくなるような、実現性が高く効果的な企画名・説明文等を検討の上、特別コーナーを作り提出する紙面レイアウト内でも読者に伝わるような PR を行うこと。

※契約候補者の提案内容は、名古屋の魅力発信を行う企画面等で採用する予定。

※読者に対する企画申込期限を設定する場合、9/30(火)までとする。

※読者へのプレゼント企画を提案する場合のプレゼント品の購入費用や郵送料など、本提案の実現のために必要な費用があれば受託者が負担すること。なお、市長室広報課アカウントでの投稿作業については、市長室広報課が行うものとする。

【必須項目】

市長コメント（レイアウト・デザイン・サイズ等を検討し、記載すること）

文化交流の舞台として歴史を刻んできた揚輝荘。本市では、その価値を大切にしながら、市民の皆さまが気軽に訪れ文化に触れられる場所として活用を進めています。ぜひ足を運んでみてください。名古屋市長 広沢 一郎

【必須項目】

問合揚輝荘 ☎052-759-4450（月曜日・ただし祝休日の場合は翌平日休み）
FAX052-759-4451

5 シリーズ企画「丸八博士の●●クイズ(仮)」の作成について

(1) テーマ

「家具の転倒防止対策」

(2) ターゲット

いつか来るかもしれない巨大地震への危機感を持っておらず、家具の転倒防止対策を行っていない人。自分だけでは家具の転倒防止対策を行うことができないと感じている人。

(3) シリーズ企画の趣旨・ターゲットに気づいてほしいポイント

ア イラストから問題提起を行い、このイラストで描かれている何がだめ(危険・違反行為・改善の余地ありなど)で、何がよいのか。だめな部分を解消するためにはどうすればよいかを問い合わせ、社会問題などを考えるきっかけとしたり、正しい施策理解を促したりすることで、市の施策の認知度を向上させることを目的とする。なお、紹介する施策によっては、イラストで描かれている様子を「誤っている」「だめ」「間違い」などと強く表現することが適さず、「よりよい方法がある」と感じさせるような柔らかい表現が好まれる場合もあるため、留意の上作成すること。

※シリーズ企画のタイトル「丸八博士の●●クイズ(仮)」については、より企画の趣旨を反映させることができる名称を提案することも可とする。

※丸八博士はシリーズ企画のメインキャラクターとなることを想定している。キャラクターのデザイン・特徴・性格は必ずしも博士とする必要はない。名称も丸八博士とする必要はない。これらはより企画の趣旨を反映させることができるものを探すこと也可とする。

イ 阪神・淡路大震災(平成7年)では、多くの方が家屋の倒壊や家具の転倒による窒息死・圧迫死で亡くなっており、家具転倒防止を含む家庭内の地震対策が命を守る上で極めて重要であること。

ウ イラストに描かれた「寝室で倒れる家具」「ふさがれる避難経路」などの場面を通じて、誰の家庭でも起こり得る危険を直感的に理解し、“自分の家は大丈夫か見直さなくてはいけない”と気づいてもらうこと。

(4) ターゲットにどうなってほしいか

家庭での地震対策、特に家具転倒防止を実践し、自分と家族の命を守る備えを進めてもらえるようになってほしい。

(5) 留意事項

写真やイラストを凝らし、紙面を作成すること。

ア イラストは、必要に応じて適宜作成・挿入すること。提案者が自ら作成したものや著作権フリーの素材等、権利関係上問題のないものを使用すること。

イ 別途提供する写真データ等を使用する場合、加工・修正は可とする。

ウ 二次元コードは読み取れるサイズであれば、大きさは問わない。

(6) 記事原稿

【必須項目】

タイトル

5 (2) ~ (4) を踏まえて、タイトルを作成し、記載すること。

【必須項目】

サブタイトル（リライト・短縮可）

丸八博士の●●クイズ（仮）

5 (2) ~ (4) を踏まえて、サブタイトルを作成し、記載すること。

【必須項目】

リード文（リライト・短縮可）

阪神・淡路大震災（平成7年）では、家屋の倒壊や家具の転倒をきっかけに多くの方が亡くなりました。家具の転倒防止対策は非常に重要です。南海トラフ地震の発生が想定されている今、あなたのお部屋を見直してみましょう。

【必須項目】

まずは寝室を見直し！この部屋、どこが危ない？（リライト・短縮可）

次の紙面導入部分をイラストで描写すること。

※読者が自分事としてとらえることができるようなデザインにすること。

イラストの内容

- ・寝室に大きな家具があり、倒れつきやすい環境になっている
- ・家具が倒れると、就寝している人の上に直撃しやすい向きに配置されている
- ・家具が倒れると出入口がふさがれ、避難できなくなる配置になっている
- ・重い物が上の棚に置かれ、地震時に落下・飛散しやすくなっている
- ・上記の内容をまとめて、1点のイラストとして描写すること。ただし、デザイン上効果的と判断した場合は、複数のイラストとしてもよいこととする

家具のレイアウトで大切なポイント

以下の必須項目にある説明文はリライト・短縮可

【必須項目】

紙面導入部分のイラストについて、どこが危険なポイントかを示す図を作成すること。上記「イラストの内容」の4項目の文章を参考に、図に解説を添える形で記載することも可とする。

【必須項目】

記載の内容をイラスト・文字・吹き出しなどで表現すること。各項目は全て記載せずいくつかをピックアップして記載することも可とする。

対策 1. 寝室に家具を置かない。

対策 2. 家具を置く場合は、就寝する場所に倒れてくる位置を避ける。

対策 3. 出入口をふさがないように向きを変える。

対策 4. 背の高い家具は置かない。重心を低くすることで倒れにくくすることができる。

家具転倒防止器具を使おう

以下の必須項目にある説明文はリライト・短縮可

【必須項目】

記載の内容をイラスト・文字・吹き出しなどで表現すること。各項目は全て記載せずいくつかをピックアップして記載することも可とする。各項目から2つ以上を記載する場合は、ねじ式>粘着式>ポール式>ストッパー式>マット式の順で効果があることがわかるようにイラスト・文字・吹き出しなどで表現すること。

家具レイアウトの見直しができない場合は、器具を使って家具を固定しよう。

・ねじ式

ねじで壁に固定する方法は効果が高いと言われている。

・粘着式

・ポール式

天井の強度が不安な場合は、当て板等で補強しよう。定期的に高さ調節ねじが緩んでいないか確認しよう。

・ストッパー式、マット式

ポール式等と組み合わせて使用すると、より効果が高まる。

※部屋の状況、家具の材質や大きさに合わせて対策の方法を工夫してみてよう。

【必須項目】

家具が倒れないための対策について詳しくはこちら→[二次元コード（家具転倒防止対策「南海トラフ地震から命を守るために！」の二次元コードの提供あり）](#)

ご自身で家具転倒防止対策ができない方へ

以下の必須項目にある説明文はリライト・短縮可。ただし、**対象**、**受付**、**料金**、**申込**の項目内と、二次元コードはリライト・短縮不可。

【必須項目】

家具転倒防止ボランティアを派遣します

家具3点まで対策を行います。

対象市内在住の方 **受付**随時 **料金**家具転倒防止器具の代金のみ

申込電子申請か電話で各消防署・区役所総務課

詳しくはこちら→[二次元コード（家具転倒防止ボランティアを派遣します。の二次元コードの提供あり）](#)

住宅などの地震対策でお悩みの方へ

以下の必須項目にある説明文はリライト・短縮可。ただし、**対象**、**受付**、**申込**の項目内と、二次元コードはリライト・短縮不可。

【必須項目】

耐震相談員を派遣します無料

こんな方におすすめです。

- ・何から始めてよいか分からない
- ・建物・図面を見ながら耐震のアドバイスを受けたい
- ・助成制度を知りたい

対象市内に建築物を所有・賃借している方

受付来年2/28（土）まで

申込電子申請か郵送（市ウェブサイトから申請書をダウンロード）で
住宅都市局耐震化支援課☎052-972-2787 FAX052-972-4179

詳しくはこちら→**二次元コード**（なごや耐震アドバイザー派遣制度の二次元コードの
提供あり）

【必須項目】

問合消防局消防課 ☎052-972-3543 FAX052-972-8463